

但馬水産技術センターだより



海況情報（K2228号）

令和4年10月11日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

1. 日本海海況予報（2022年10月中旬～12月）

日本海における海況の予報をお知らせします。

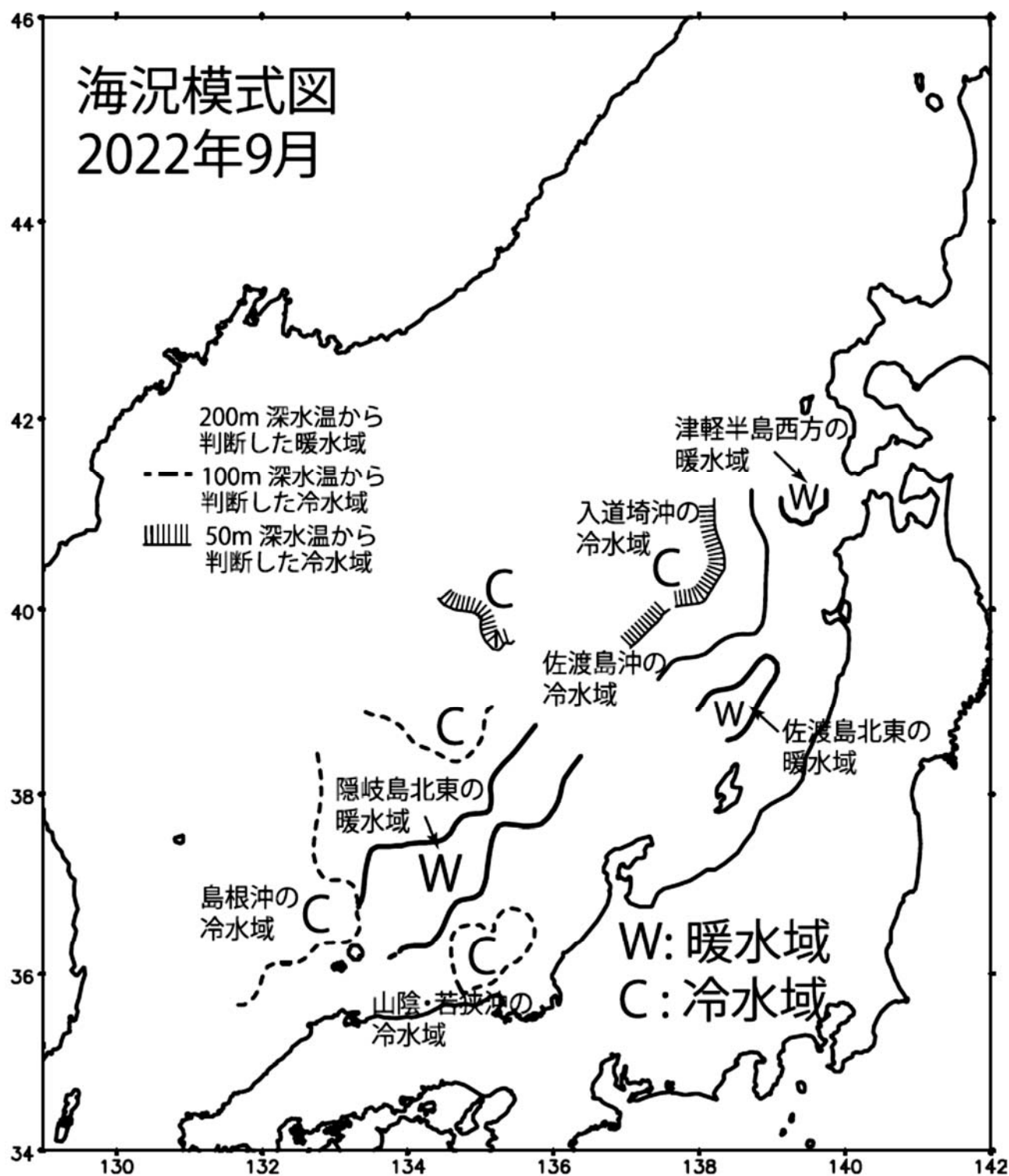
資料1

- ・2022年度第3回日本海海況予報（国立研究開発法人水産研究・開発機構 水産資源研究所）＊観測データの出所は但馬水産技術センターほか各道府県等。

（コメント：10月中旬～12月の見通し一部抜粋、別紙の「2022年9月の海況模式図」参照）

- ・ 隠岐諸島北東の暖水域は定在。
- ・ 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は「平年並み」、接岸状況は「やや接岸」で経過。
- ・ 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模は「かなり大きく」、接岸状況は「やや接岸」で経過。
- ・ 対馬暖流域の表面水温は、「平年並み」で経過。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は「平年並み」、北部は「かなり高め」で経過。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター（鈴木）TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684
email：nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp
ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/



2022 年 9 月の海況模式図

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2022/index.html>

2022年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2022年10月中旬～12月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は定在する。佐渡島北東の暖水域はやや西に移動し、佐渡島北西に分布する。津軽半島西方の暖水域は勢力を弱めつつ南西に移動し、男鹿半島北西に分布する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模は平年並み、接岸距離はやや接岸で経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり大きく、接岸状況はやや接岸で経過する。佐渡沖の冷水域の張り出しは、規模はかなり小さく、接岸状況ははなはだ離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しは、規模はやや小さく、接岸状況は平年並みで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“平年並み”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部は“平年並み”、北部は“かなり高め”で経過する。

2. 経過（(1)は2022年6月～9月、(2)～(3)は2022年6月～8月、(4)は2022年6月）

- (1) 6月に隠岐島東方で見られた暖水域は7月に消滅。隠岐島北東で見られた暖水域は9月まで停滞。富山湾で見られた暖水域は8月にやや北東に移動した後、9月に消滅。佐渡島北西に見られた暖水域は北東に移動し、9月に佐渡島北東に分布。山形沿岸で見られた暖水域は8月に弱体化し、9月に消滅。津軽半島西岸に見られた暖水域は7月に津軽海峡から太平洋へ流出。9月に津軽半島西方に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月はやや小さく接岸距離は平年並み、7月はやや小さくやや離岸、8月は規模は平年並みでやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、6月はやや小さくはなはだ離岸、7月は規模は平年並みでやや接岸、8月はやや大きくやや接岸。佐渡島沖の冷水域は、6月は規模は平年並みでやや離岸、7月はやや小さくやや離岸、8月はかなり小さくはなはだ離岸。入道埼沖の冷水域は、6月はかなり小さくやや離岸、7月ははなはだ小さくはなはだ離岸、8月はやや小さくかなり離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、6月は、積丹半島北方～北西、能登半島北方で“やや低め”以外、“平年並み”～“やや高め”。7月は、男鹿半島北西、佐渡島周辺、上越沿岸、隠岐諸島～北西で“かなり高め”、奥尻島北方、津軽半島西方で“やや低め”以外、“平年並み”～“やや高め”。8月は石狩湾周辺で“かなり高め”以外、“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部・北部ともに“やや高め”。

3. 現況（2022年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐島北東、佐渡島北東、津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模は平年並みでやや接岸。山陰・若狭沖の冷水域は、かなり大きくやや接岸。佐渡沖の冷水域は、かなり小さくはなはだ離岸。入道埼沖の冷水域は、やや小さく接岸距離は平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、津軽半島西方で“かなり高め”、隠岐諸島北西で“やや低め”以外、“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部で“平年並み”、北部で“はなはだ高め”。

（註）用語の定義は以下のとおり

- | | |
|--------|--|
| ”はなはだ” | ：標準化した数値の絶対値が2.0を超える（出現確率約22年に1回） |
| ”かなり” | ：標準化した数値の絶対値が1.3を超え且つ2.0以下（出現確率約7年に1回） |
| ”やや” | ：標準化した数値の絶対値が0.6を超え且つ1.3以下（出現確率約3年に1回） |
| ”平年並み” | ：標準化した数値の絶対値が0.6以下（出現確率約2年に1回） |

標準化に用いた平均値と標準偏差は1986～2015年のデータから算出

出典：国立研究開発法人水産研究・開発機構

<https://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease/pr2022/index.html>